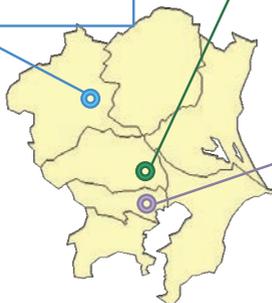
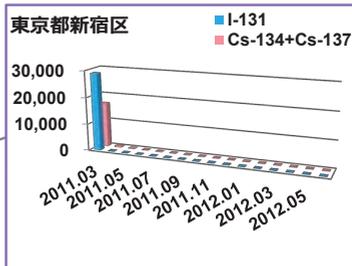
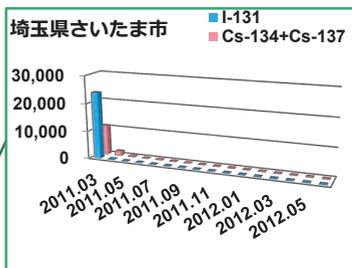
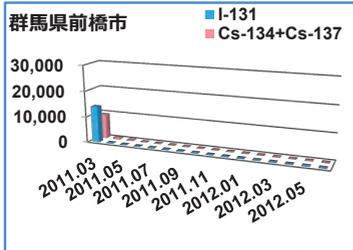


降下物中の放射性物質

セシウムとヨウ素の降下量（群馬県・埼玉県・東京都の経時変化）

（単位： MBq/km²/月）



MBq/km²/月：メガベクレル/平方キロメートル/月

文部科学省発表：環境放射能水準調査結果（月間降下物）より

東京電力福島第一原子力発電所から210km離れた前橋市、さいたま市、230km離れた東京都新宿区において、事故直後の平成23年3月に放射性セシウム（前橋市：1か月に1km²当たり約1万メガベクレル、さいたま市：1か月に1km²当たり約1万メガベクレル、新宿区：1か月に1km²当たり約2万メガベクレル）、放射性ヨウ素（前橋市：1か月に1km²当たり約1万メガベクレル、さいたま市：1か月に1km²当たり約2万メガベクレル、新宿区：1か月に1km²当たり約3万メガベクレル）の降下が観測されましたが平成23年4月以降は、放射性降下物が大幅に減少したことが分かります。

こうした降下物に対応するため、平成23年3月17日には厚生労働省が食品の暫定規制値を定め、流通制限を行い、3月18日からは文部科学省（当時）が宮城県及び福島県を除く各都道府県において毎日1地点の水道水の検査を実施しました。

本資料への収録日：平成25年3月31日

改訂日：平成28年1月18日